

機械器具12 理学診療用器具
管理医療機器 人体開口部用超音波プローブカバー 70015000
(術中用超音波プローブカバー 70016000、体表面用超音波プローブカバー 70014000)

エコープローブカバーK

再使用禁止

【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

- 再滅菌、再使用禁止
- 中心循環系又は硬膜を含む中枢神経系には使用しないこと
[当該部位での使用は意図していないため]。

* 【形状・構造及び原理等】

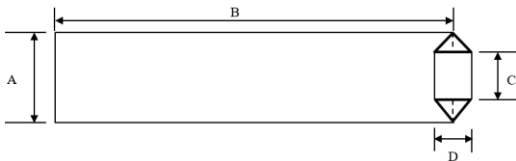
- 本品は、プローブ先端部及びケーブルを保護するプローブカバー、挿入を補助するインサーター、塗布注入用のジェル、束ね用ゴムバンド（輪ゴム）、固定用テープ及び内容物を包む用不織布シートからなります。一部の構成部品が含まれない場合があります。

(代表図)

1. プローブカバー

原材料：ポリエーテルポリウレタン

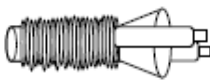
・ 経食道用以外



A	B			C×D
9	90	150	-	5.5×3.5
12	25	-	-	7.0×4.5
14	50	90	150	8.5×5.5

(単位：cm)

・ 経食道用



プローブカバー		
挿入口幅	全長	先端幅
57	124	30

(単位：cm)

(インサーターにテープとセット済み)

2. 付属品

- ・ ジェル
- ・ 輪ゴム
- ・ テープ
- ・ 不織布シート



- プローブカバーのサイズ、ジェルの形状やサイズ、ゴムバンドの数量、不織布シートのサイズは製品によって異なります。

* 【使用目的又は効果】

超音波プローブに装着し、体液又は汚れ等からプローブを保護するために用いる。本品は単回使用である。

【使用方法等】

経食道用以外

1. 平らな机等の上で滅菌バッグを開封し、内容物を取り出します。
2. 開口部からプローブカバー内部にジェルを適量注入します。(図1参照)
3. プローブ先端部をプローブカバー内部に装着します。この時プローブとプローブカバーの間のエア抜き及び、皺取りを行って下さい。(図2参照)
4. プローブカバー開口部を引っ張るようになのばしプローブ及びケーブルをプローブカバーで覆い、ゴムバンドでプローブカバーを固定して下さい。(図3参照)
5. 必要に応じてゴムバンドを追加して固定して下さい。(図4参照)
6. プローブカバーに穴や傷がないことを確認します。
7. 使用後は装着と逆の手順でプローブカバーを外し、施設の基準に従い廃棄して下さい。プローブの洗浄は装置の使用方法に従って下さい。



図1



図2



図3



図4

経食道用（スタンダードタイプ）

1. 平らな机等の上で滅菌バッグを開封し、内容物を取り出します。
2. プローブカバー内側、プローブ面にジェルを適量注入します。(図5参照)
3. プローブ先端部を、インサーターの広い口側から挿入しプローブカバー内部に装着します。この時プローブとプローブカバーの間のエア抜き及び、皺取りを行って下さい。(図6参照)
4. 繋ぎ目がレンズの邪魔にならないようにプローブカバーの位置を調節します。
5. プローブカバーに穴や傷がないことを確認します。
6. テープのライナーを取り除き、インサーターをプローブに固定します。(図7参照)
7. 使用後は装着と逆の手順でプローブカバーを外し、施設の基準に従い廃棄して下さい。プローブの洗浄は装置の使用方法に従って下さい。



図5



図6

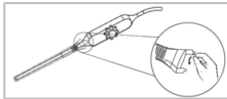


図7

経食道用（リバーサルタイプ）

1. 平らな机等の上で滅菌バッグを開封し、内容物を取り出します。
2. インサーターの細い口側の開口部から、プローブカバー内部にジェルを適量注入します。（図 8 参照）
3. プローブ先端部を、インサーターの細い口側の開口部から挿入しプローブカバー内部に装着します。この時プローブとプローブカバーの間のエア抜き及び、皺取りを行って下さい。（図 9 参照）
4. 繋ぎ目がレンズの邪魔にならないようにプローブカバーの位置を調節します。
5. プローブカバーに穴や傷がないことを確認します。
6. インサーターを引っ張るように伸ばし、プローブ及びケーブルカバーで覆い付属のテープで固定し、プローブカバーを傷つけないようにインサーターを引き取って下さい。（図 10）
7. 使用後は装着と逆の手順でプローブカバーを外し、施設の基準に従い廃棄して下さい。プローブの洗浄は装置の使用方法に従って下さい。



図 8



図 9

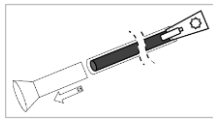


図 10

【 使用上の注意 】

〈重要な基本的注意〉

- プローブより小さなサイズの本品を使用しないこと〔破損の恐れがあるため〕。
- 本品のジェルは、人体に直接使用しないこと〔ジェルは粘膜や体液等との接触を意図したものではないため〕。
- 超音波画像診断装置等の使用方法・使用上の注意に従いご使用下さい。
- ジェルの注入後、漏れが生じていないことを確認して下さい。
- ジェルは、使用量が少ないと画像が不鮮明になる恐れがあるので、適量をご使用下さい。
- ゴムバンドやテープは、ズレや落下等が生じないようにしっかりと固定して下さい。

【 保管方法及び有効期間等 】

1. 保管方法
水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光のあたる場所をさけて室温で保管して下さい。
2. 使用期限
使用期限（自己認証）をパッケージに記載している。

【 製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等 】

製造販売元：川本産業株式会社
TEL 06-6943-8956（お客様相談窓口）
（10:00～17:00月～金ただし祝日を除く）